

令和2年新春 講演会・産学官交流会

(令和2年1月23日)

1月23日(木)にホテルセントヒル長崎にて「令和2年新春講演会・産学官交流会」を開催しました。同会場の3階「紫陽花の間」で「我が社の一押し講演」、及び「特別講演」を開催後、2階「妙見の間」にて産学官交流会を開催しました。

長崎県産業労働部、長崎県総務部、長崎市商工部、長崎県警察本部、長崎県産業振興財団、長崎県工業技術センター、長崎工業会、中央会、JETORO、ながさき地域政策研究所、長崎出島インキュベータ(D-FLAG)の方々を始め、長崎大学、県立大学、総合科学大学、佐世保高専より、110名を超える多数のご来席を戴き、地域発展につながる交流と懇親の場を持つことができました。

◆ 主催者挨拶



(一社)長崎県情報産業協会(NISA)
会長 中野 一英

◆「産学官交流会」ご来賓ご挨拶

ご来賓を代表して、長崎県産業労働部 村田様、長崎市商工部 長谷崎様よりご挨拶を戴きました。

また、乾杯の音頭を長崎大学教授 小林様、中締め音頭を長崎県産業振興財団 西村様より戴きました。



長崎県産業労働部
次長 村田 誠様



長崎市商工部
理事 長谷崎 耕蔵様



長崎大学大学院 工学研究科
教授 小林 透様



長崎県産業振興財団
専務理事 西村 一宏様

◆「新春講演会」・「産学官交流会」スナップ



新春講演会 ホテルセントヒル長崎 (3F 紫陽花の間)



産学官交流会 ホテルセントヒル長崎 (2F 妙見の間)



産学官交流会 ホテルセントヒル長崎 (2F 妙見の間)



産学官交流会 ホテルセントヒル長崎 (2F 妙見の間)

「新春講演会」(令和2年1月23日)

演題『これからの経営の新基準～SDGsを戦略的に活用する経営とは～』



講師 株式会社ビーコンサルティングサービス
代表取締役社長 近藤 雅人様

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



「SDGs」は、2015年に国連で採択された世界を変えるための目標であり、17個の目標で構成されています。

今や「SDGsは“知る”から“行動する”フェーズに変わってきた」と言われています。

2015年9月に国連で採択されたSDGsは、いまや多くの企業や自治体がCSR報告書や中期計画、ホームページ等に掲げるようになりました。

しかし、掲げているだけで実態が伴わない組織、取り組んではいるが成果につがっていない組織が少なくありません。

「環境」、「社会」、「事業」の3つの持続可能性を実現する経営にシフトしていくまでにはいくつかのステージがあり、そのステージを上る必要があります。

そのステージを上がっていくためには「なぜ自組織はSDGsに取り組むのか」、「今、自組織はどの段階にいるのか」を確認し、適切な手立てを選ぶことが早道です。

SDGsの概要とうまく取り組まれている事例をもとに、事業の持続的成長と企業価値向上のために不可欠なサステナビリティの考え方について理解を深めて頂きます。

「SDGs」(Sustainable Development Goals)とは、2030年までに解決を目指す「17個の世界共通の目標」です。世界は、人口の爆発的な増加で、資源の枯渇が始まると資源の奪い合いが起こります。これらに対して「SDGs」の活動を世界で足並みをそろえて解決して行く必要が」あります。

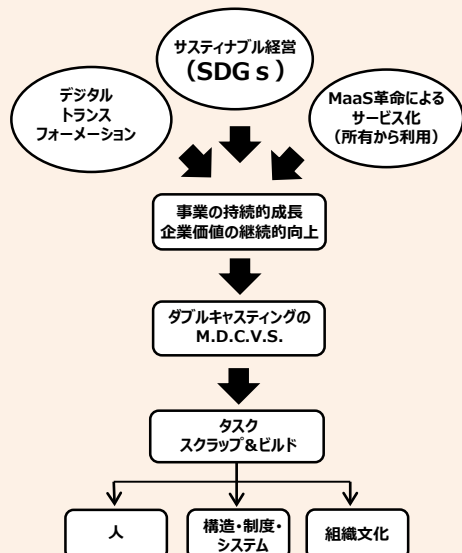
日本は人口減少、少子高齢化が急速に進んでおり、そのため人口減少に歯止めをかけ、中長期的な成長を目指すためには「地方創生」を実現するための活動と「SDGsの達成に向けた取り組み」が重要です。

サステナビリティ(持続可能性)は、経営戦略そのものであり、その取り組みは、現場がその気にならなければ、上層部だけでは実現できません。

経営責任として「事業の持続的成長」が重要であり、大きなインパクトとして変化が伴います。変化は、向き合い方を誤れば脅威になりますが、向き合い方を変えればチャンスにもなります。

「SDGs」を活用して社会への影響を理解することで、適切な優先順位付けを行い、活動に取り組めます。

経営への3大インパクト



【講師略歴】

大学卒業後、株式会社ビジネスコンサルタントに入社、様々な拠点での経験を経て、営業部隊約200名をまとめる営業部長に就任。その後、コンサルタント部門に移籍し年間平均50組織以上、200日以上講師経験を積み、実施した数多くの組織で高い評価を得ています。その後、取締役、常務取締役に就任。2019年に株式会社ビーコンサルティングサービス代表取締役社長に就任。コンサルタントとしての特徴は2点です。

- ①官公庁・民間企業での研修講師実績が豊富。
- ②営業部長・取締役・執行役員といった組織の重責を担当。

実務として多数のプロジェクトや新規事業の立ち上げなどを行った経験があり、この経験を活かしたご支援の実績が多数あります。

「わが社の一押し」発表 (令和2年1月23日)

■株式会社 亀山電機

演題『IoTを活用した予知・予防保全システム』



製造業で連続稼働する機械装置においては、劣化による性能低下、装置の故障・停止の予防として、定期メンテナンスによる対策がとられています。

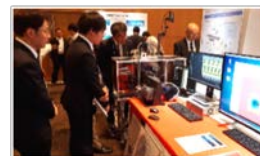
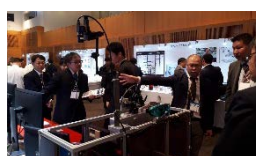
IoTを活用し、各種データを計測・監視・分析、故障を予知・予防保全することで、故障発生リスクの低減、メンテナンスコストの最適化が図れます。

講師 (株) 亀山電機 総務部長 前田 康太郎様

【1】「IoTを活用したベルトコンベアの予知保全システム」を4社合同でPoC(Proof of Concept: 実証実験)を実施しました。4社の役割りは次の通りです。

- ① 亀山電機: PoC主体、事業化検討
- ② キヤノンITS: 画像取得、分析、特徴量の抽出
- ③ toor: 多変量データMAP化エンジン、toorPIAの提供
- ④ サイバネット: ビッグデータ可視化、分析システム、BIGDAT@Viewerの提供

【3】2019年10月17日にアクロス福岡で開催された「火力原子力発電九州大会」で本システムを技術展示しました。



【2】クラウドコンピューティングの活用により、各地で計測したデータを管理事務所で一括して集中監視ができるようにしました。

【4】今後の課題としては、通信改善のほか、ディープラーニングによる特徴量を自動的に抽出して処理方法の自動学習によるデータ精度向上などを改善するため、佐世保高専とディープラーニングの共同研究を進めています。

■九州教具株式会社

演題『ICTを活用したホスピタリティの向上』



講師 九州教具(株) 経営管理本部 社長室長 岡村 雅彦様



九州教具Q-bicホテルズでは、社内インフラ、お客様サービスの分野で様々な課題を抱えています。それらの課題解決のひとつとして、ホテルインフラの進化、サーバー・PC端末のアップグレード、自動チェックイン機導入などICTを活用した取り組みについてご紹介いたします。

【1】九州教具(株) グループの紹介

- ① Q-bicソリューションズ
- ② ウォーターネット
- ③ Q-bicホテルズ
 - ・ホテルベルビュー長崎出島
 - ・ホテルウィングポート長崎
 - ・ホテルクオーレ長崎駅前
 - ・ホテルブリスヴィラ波佐見

【2】ホテルインフラの進化

- ① リモートネットワーク管理システム
- ② 自動チェックイン機導入
 - ・予約確認、検索登録
 - ・支払い清算
 - ・パスポートスキャン
 - ・カードキー発行
 - ・5言語対応

【3】課題と対策

- ① 客室エンタメのアップグレード
 - ・huluネットTV
 - ・4K VOD
 - ・館内案内・観光案内
- ② インバウンド客増加への対応
 - ・外国人従業員(JIN XIN氏)採用
 - ・ネイティブ言語での対応(日本語、英語、中国語対応)

◆ ビジネスコラボ会

会員相互の懇親を図り、信頼関係を醸成するため、2ヶ月に1回の割合で「ビジネスコラボ会」を開催しています。理事会終了後の開催ですが、行政、大学、団体からのご参加を含め、会員は誰でも参加できます。

◆ 2019年7月25日(木)

【理事会】 15:00～17:00

- ・場所: 佐世保情報産業プラザ 会議室
(佐世保市岡崎長2720-8)
- ・出席: (県北)エコー電子工業、日本ビジネスソフト、福祉ソフト
株SPEC、NISA理事他(14) 合計18名

【ビジネスコラボ会】(県北地域会員懇親会) 18:30～20:30

- ・場所: いけ潮博多屋(佐世保市三浦町4-1)
- ・出席: (県北)エコー電子工業、日本ビジネスソフト、福祉ソフト
株SPEC、NISA理事他(11)、合計15名



◆ 2019年8月22日(木)

【理事会】 15:00～17:00

- ・場所: 長崎市立図書館2F 会議室
(長崎市興善町1-1)
- ・出席: 理事(15)、監事(1)、オブザーバ(1)、他(5); 合計22名

【ビジネスコラボ会】 18:00～20:00

- ・場所: 「焼き焼き鉄板 はまのや」(長崎市万屋町5-33)
- ・出席: 理事(10)、監事(1)、他(3); 合計14名



◆ 2019年10月24日(木)

【理事会】 15:00～17:00

- ・場所: 長崎市立図書館2F 会議室
(長崎市興善町1-1)
- ・出席: 理事(13)、監事(2)、オブザーバ、他(3); 合計18名

【ビジネスコラボ会】 18:00～20:00

- ・場所: 「串なべby れつどぶ一つ」(長崎市浜町8-21 2F)
- ・出席: 理事、監事、NISA会員、他; 合計11名



◆ 2019年12月19日(木)

【理事会】 14:00～16:30

- ・場所: 出島交流会館9F会議室(長崎市出島町2-11)
- ・出席: NISA理事(12)、監事(1)、オブザーバ他(4); 合計17名

【県工業技術センターとの意見交換会】 16:30～17:30

「平成元年度研究キャラバン」

- ・理事会終了後に同会議室にて開催。
- ・出席: 理事他(17)、工技セ(6)、財団(3)、長大(2); 合計28名

【ビジネスコラボ会】(懇親会) 18:30～20:30

- ・場所: 「楽屋」(長崎市油屋町1-4 2F)
- ・出席: NISA理事、監事、他(15)、工技セ(5); 合計20名



◆ トピックス

◆ 2019年度 NISA主催「新入社員研修」開催報告

(エンベックスエデュケーション・NISA共催研修)

【長崎市会場】

- 1.日時 2019年4月5日(金)～6月5日(水)
- 2.場所 バンホナールビル4F 404-1号室
(長崎市旭町8-23)
- 3.参加者 NISA会員企業8社、16名
- 4.研修コース 「Java Web技術者養成コース」



【佐世保市会場】

- 1.日時 2019年4月4日(木)～6月4日(火)
- 2.場所 交通会館2F (佐世保市栄町7-12)
- 3.参加者 NISA会員企業2社、6名
(熊本県より参加1社、1名)
- 4.研修コース 「C#.net技術者養成コース」



◆ 2019年度 NISA主催「NISA-IT技術研修」開催報告

- 1.日時 2019年6月12日(水)～2020年1月31日(金)
- 2.場所 NISA研修室7F、又は出島交流会館9F
- 3.受講者 NISA会員企業、他 (実績:22講座合計:201名)
会員外(大企業、県外企業を含む12名)も受講
- 4.研修コース 会員アンケートによる受講希望講座選定(22講座)
厚生労働省「人材開発支援助成金」適用講座



◆ 2019年度 NISA主催「JISA-NISA共催 技術研修」開催報告

- 1.日時 2020年2月6日(木)、7日(金) 7時間×2日間
- 2.場所 出島交流会館9F
- 3.受講者 NISA会員企業、他、一般参加を含む、合計8名
- 4.研修コース 「人工知能(AI)入門講座」(IoT実践講座)
受講料(無料:JISA補助金適用講座)
テキスト代(¥5,000)



◆ 第41回 全国地域情報産業団体連合会「ANIA北海道・札幌大会」参加報告

- 1.日時 2019年(令和元年)10月17日(木)、18日(金)
- 2.場所 札幌市、札幌グランドホテル
- 3.参加者 全国の情報産業協会、及び産学官、34団体より約300名が参加。
- 4.概要 主催者挨拶、ご来賓のご祝辞の後、「初音ミク」の考案者、開発者のクリプトン・フィーチャー・メディア(株) 伊藤社長より、ベンチャー企業として地方の優位性を活かした経営の在り方等についての講演、及び「地方のIT産業の未来について」パネルディスカッションが行われました。長崎県からは、6社7名のNISA会員様のご参加をいただきました。2020年度は、9月10日(木)、11日(金)に「ANIA山梨県・甲府大会」が開催されます。



◆「中小企業のための 今取り組む サイバーセキュリティ」セミナー開催報告

令和2年2月21日(金)に、IPA(独立行政法人情報処理推進機構)より講師 江島 将和様をお迎えし、出島交流会館(9階会議室)でセミナーを開催しました。



新型コロナウイルス感染防止対策を強化しつつある中、県内より40名以上のご参加を戴き、熱心に受講して戴きました。

その後のセミナーは、全国的な感染防止対策のため不特定多数参加の集会を自粛することとなり、全て中止となりましたので、今年度最後のセミナーとなりました。

(主催:独立行政法人中小企業基盤整備機構 九州本部、共催:一般社団法人長崎県情報産業協会)

◆後援「2019 第8回長崎デジタルコンテスト」

開催:2019年9月14日(土)、主催:(株)アドミン
場所:出島交流会館9F

対象:小学生・中学生、高校生、大学生、一般



◆後援「2019 GPリーグ 長崎県大会」

小学生プログラミングコンテスト(小学3年生～6年生)

開催:2019年11月9日(土)予選、10(日)決勝

場所:長崎県庁1F エントランス 特設会場

主催:(一社)GPリーグ/共催:佐世保高専

地域協賛:NDKCOM、オフィスエーション、福祉ソフト、NITTOKU

オフィシャルパートナー:ヤマハ発動機(株)、(株)cygames

日本マイクロソフト(株)



◆第15回「IPAひろげよう情報セキュリティコンクール 2019」(一社)長崎県情報産業協会・会長賞 授与(標語部門)

諫早市立西諫早中学校2年 熊野 暉さん
(ポスター部門)

長崎県立佐世保北高等学校1年 藤澤 優希さん
(4コマ漫画部門)

長崎日本大学高等学校2年 田中 響さん

◆2020年度 NISA IT技術研修

会員アンケートに基づき22講座の開催が理事会で承認されました。

No.	分類	開講(3日間)	講座名
01j	セキュリティ	6/10～6/12	ネットワークとセキュリティの基礎
02j	ヒューマンスキル	6/24～6/26	ITビジネスにおける論理思考の活用技術 (NEW)
03j	プロジェクトマネジメント	7/1～7/10	システム開発における品質マネジメントワークショップ
04s	ヒューマンスキル	7/8～7/10	IT技術者のためのファシリテーション
05j	開発	7/29～7/31	ユーザーインターフェース設計の定石とUXデザインワークショップ
06j	開発	8/5～8/7	C#によるオブジェクト指向プログラミング(基礎編)
07j	データサイエンス	8/19～8/21	統計学を用いたプロジェクトデータ分析
08j	開発	9/2～9/4	ITエンジニアのためのデザイン思考ワークショップ (NEW)
09s	データサイエンス	9/9～9/11	Pythonで学ぶ機械学習(NEW)
10a	プロジェクトマネジメント	9/16～9/18	仕事の段取り力養成講座
11a	ヒューマンスキル	9/23～9/25	IoT・ビッグデータにも活用！すぐ使える統計解析 (NEW)
12s	プロジェクトマネジメント	9/30～10/2	失敗しないプロジェクトのための段取り力
13j	開発	10/14～10/16	C#によるWebアプリケーション開発(実践編)
14j	開発	10/21～10/23	データベース設計ワークショップ
15j	ヒューマンスキル	10/28～10/30	信頼されるSEに求められる問題解決スキル
16j	データサイエンス	11/11～11/13	データラーニングの理論と実装 (NEW)
17j	IoT	11/18～11/20	IoTを用いた新システム提案～アイデアソン～
18j	開発	12/2～12/4	セキュアなWebアプリケーション開発(NEW)
19a	ヒューマンスキル	12/9～12/11	エンジニアのスキルを徹底活用するための書き方・話し方
20j	開発	12/16～12/18	オブジェクト指向の本質に基づいたアプリケーション設計
21s	ヒューマンスキル	1/27～1/29	IT技術者のためのデザイン・シンキング
22a	プロジェクトマネジメント	2/3～2/5	ケースに学ぶITプロジェクトにおける品質マネジメント

令和2年1月現在のNISA会員登録数 合計 71社
・特別賛助会員 5社、正会員 66社

発行元: 一般社団法人 長崎県情報産業協会
〒850-0032 長崎市興善町4-6-701
電話: 095-824-0332
発行責任者: 会長 中野 一英
発行日: 令和2年3月6日 第1版

(文責:総務広報委員会 梁瀬理事)